

② 生活復興支援分科会

分科会のキャッチフレーズ・スローガン

支え愛でみんながつながる 未来へ

私たちが目指す社会

- だれもが「助けて」を伝えられて、だれも「とり残されない」社会
- アウトリーチの支援活動ができて「小さな声」にも よりそえる社会
- 災害後の生活再建でもご近所から専門家まで様々な支援に繋がる社会
- 日ごろから 隣近所どうして見守りながら 支え合いができる地域社会
- 地域内でも、地域の外とも「顔の見える関係」で 繋がっている社会

私たちの提言

1. 災害ケースマネジメントなど多様な支援を繋げられる仕組みを創ろう！
2. 「支え愛マップ」「地区防災計画」など住民主体の取組みを拡げよう！
3. 生活復興の主体は被災者と地元。地域コミュニティの受援力を養おう！
4. 地域や学校、行政や企業など多様な組織の普段からの連携に取組もう！
5. お祭りやイベントを通じて防災仲間や「顔の見える関係」を創ろう！
6. 「助け合いの大切さ」「いのちの大切さ」を次の世代に伝えていこう！



兵庫県立大学大学院
教授 阪本 真由美氏

日頃からの「つながりづくり」が
復興の大きな力になりますね

生活復興支援分科会でのキーワードは、
『みんな』『ささえあい』『未来』
多くの人と多様な組織、団体が連携し支援に
取組める社会 を目指すためには、
『普段からの 顔の見える 関係づくり』と
『これまでの災害からの学びを
次世代に伝える機会』を
住民と行政、学校や企業が共に創っていこう！
と話し合いました



鳥取県社会福祉協議会
鳥取県災害福祉支援センター
災害支援専門官
白鳥 孝太氏

参加団体 ※順不同

(株)レクビィ／(株)IKUSA／(一社)明日への架け橋／(株)CoAct／(一社)レベルフリー／日本司法書士会連合会／四国災害ボランティアネットワーク／東京AI防災映画祭実行委員会／総務省鳥取行政監視行政相談センター／災害支援ネットワークNPOかけはし／(特非)日本防災士機構／(一社)鳥取県損害保険代理業協会